

HOME MAKES HAPPY

No. **16**
Original Report.
窪田建設

幸せになるために家を持とう。



今、小さな家と平屋が
選ばれている理由とは？

家は大きくて立派な方がいい。これが少し前の家の価値観でした。でもこれからは違います。従来の常識や世間の風潮に惑わされず、自分のライフスタイルに合う家が欲しい。そう考える人たちが世界中で増加しているのです。彼らはコンパクト化された必要最小限の小さな家に、新たな価値を見出しています。なぜなら、家を小さくすれば建築費や光熱費、家事や仕事に費やす時間が減り、その分、自由に使える時間やお金を増やせると知っているからです。

毎日充実した時間を過ごせ、喜びと安心を育み続けられる。そんな家を一人でも多くの人に届けるため、窪田建設は小さな家の研究にいち早く取り組み始めます。とはいえ開発には、小ささゆえに高度な知識と技による工夫が不可欠でした。こうして長年の研究の成果として誕生したのが、「縁側家族」と「YOROKOBI」です。そのコンセプトが多様化する社会に受け入れられ、幾つもの実績をあげてきた同社の事例を通して、小さな平屋の魅力について考えます。



YOROKOBI
LIFE DESIGN BRAND

価値観が変わる瞬間

「YOROKOBI」は、既存の常識や価値観にとらわれず、一人ひとりが本当にしあわせになれる家を目指した小さな家の専門ブランド。住宅はもちろん、組み合わせ次第でビジネス展開も可能。

← P127へ



縁側家族
ENGAWA KAZOKU

平屋から考える家づくり

「縁側家族」は平屋をベースに考えた家づくり。日本の伝統と現代のライフスタイルを融合。設計の工夫によって広がり感や居心地の良さを追求した、シンプルでロングライフな住まいです。

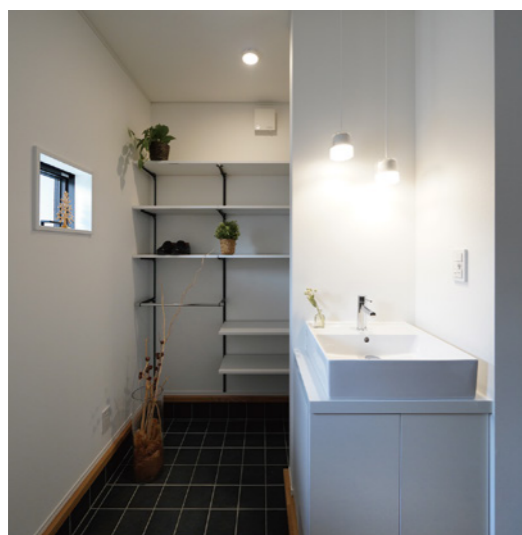
← P126へ

NO.02

YOROKOBI



LEVEL DATA 延床面積:77.04㎡(23.26坪)



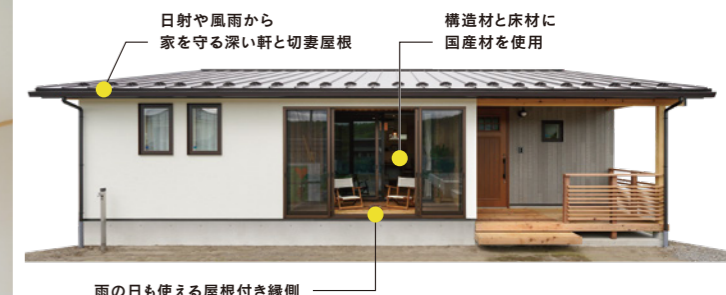
Point

この物件のこだわり

- ✓ 23坪に3LDKを実現した工夫ある間取り
ムダを極限までなくし、23坪でも3LDKを実現。配置、動線、視線の抜けを考慮した優れた設計が広がりを感じさせます。
- ✓ 使いやすい適所適量の収納
モノを溜め込みがちな大収納ではなく適所適量の収納を複数配置して、シンプルで機能的な片付く家を実現。
- ✓ 電気代高騰でも安心のソーラーパネル
大容量ソーラー搭載に最適な南面を広くした切妻屋根。電気代の高騰や災害時でも安心な暮らしが続きます。

NO.01

縁側家族



平屋日和 DATA 延床面積:92.74㎡(28.00坪)



Point

この物件のこだわり

- ✓ 内外をつなく、外窓のある縁側
サンルームの内外に掃き出し窓を設置。雨でも使えるのでアウトリビングや子どもの遊び場、物干しに便利。
- ✓ ゆったりとした余裕のある間取り
28坪のゆったりした間取り。LDKを通過して各部屋へ移動する構成なので、スペースや動きにムダがありません。
- ✓ 心むむジャパニーズスタイルのインテリア
北欧の洗練と和の伝統が融合したジャパニーズスタイル。アーティストらが生んだ普通の美が心地いい空間を演出。

機能と安心を突き詰めた究極コンパクトな「LOVEL」

オーナーさんがモデルハウスに一目惚れした、約23坪のコンパクトな平屋です。知恵と工夫を注ぎ込んだ室内は、癖のない白木のシナ天井が圧迫感を緩和して開放感いっぱい。外とつながる土間テラスもいっそう広がりを感じさせてくれます。加えてLDKを中心とした回遊型の間取りと適所適量の収納が、動きやすさとラク家事を実現しています。もう一つの特徴が10・87kWhのソーラーパネル。大容量太陽光発電に耐える切妻屋根の採用で、物価高騰の時代にも不安なく暮らせます。

そもそも小さな家には建築費や光熱費を抑えられる経済的メリットがありますが、同社が小さな家を推奨するのはコストダウンのためだけではありません。それは小さいこととかなう豊かさ——小さいからこそより良い素材や性能の導入が可能となりそれが日々の快適や将来の安心につながると考えているから。時代の多様なニーズに応える小さな平屋は、同社が自社開発した究極の平屋と言えるでしょう。

豊かな日常を謳歌するための「平屋日和」

白い壁、ナチュラルウッドの格子が程よいアクセントになった、落ち着いた佇まいの「平屋日和」です。ヒノキを多用した28坪の室内には、ゆったりとしたLDKを中心に8畳ほどの個室が二つ。リビングの先には、外に向かってサンルームのような縁側が続きます。

床・壁・天井の三方を自然の木材に囲まれた縁側は、あたかも森の中にいるようで思わず深呼吸したくなる清々しさ。さらにはリビング側と庭側の両方に掃き出し窓があり、開閉によって多彩な使い方が可能です。寒い雪の日に暖かい室内から雪景色を眺めたり、天気が良ければ開放自然との一体感を味わったり。そんな心地いい暮らしがかないます。

インテリアは、北欧の洗練と日本の伝統美が融合したジャパニーズスタイル。シンプルでナチュラルな空間は時代が変化しても色褪せることなく、ずっと愛着をもって暮らせるでしょう。まさに豊かな日常を謳歌するための平屋です。

HIRAYA & TINY STYLE



経済性 無理なく住宅ローンが組める 家計に優しい価格

建物を小さくすることで建築費用を抑えました。優れた断熱・気密性能に加え、太陽光発電や薪ストーブなど再生可能エネルギーの活用、空間のダウンサイジングによって光熱費の削減も可能です。物価やエネルギー高騰の現代にあっても、住宅ローンや光熱費の支払いといった経済的な心配をせずに暮らせる、将来もずっと安心が続く家です。

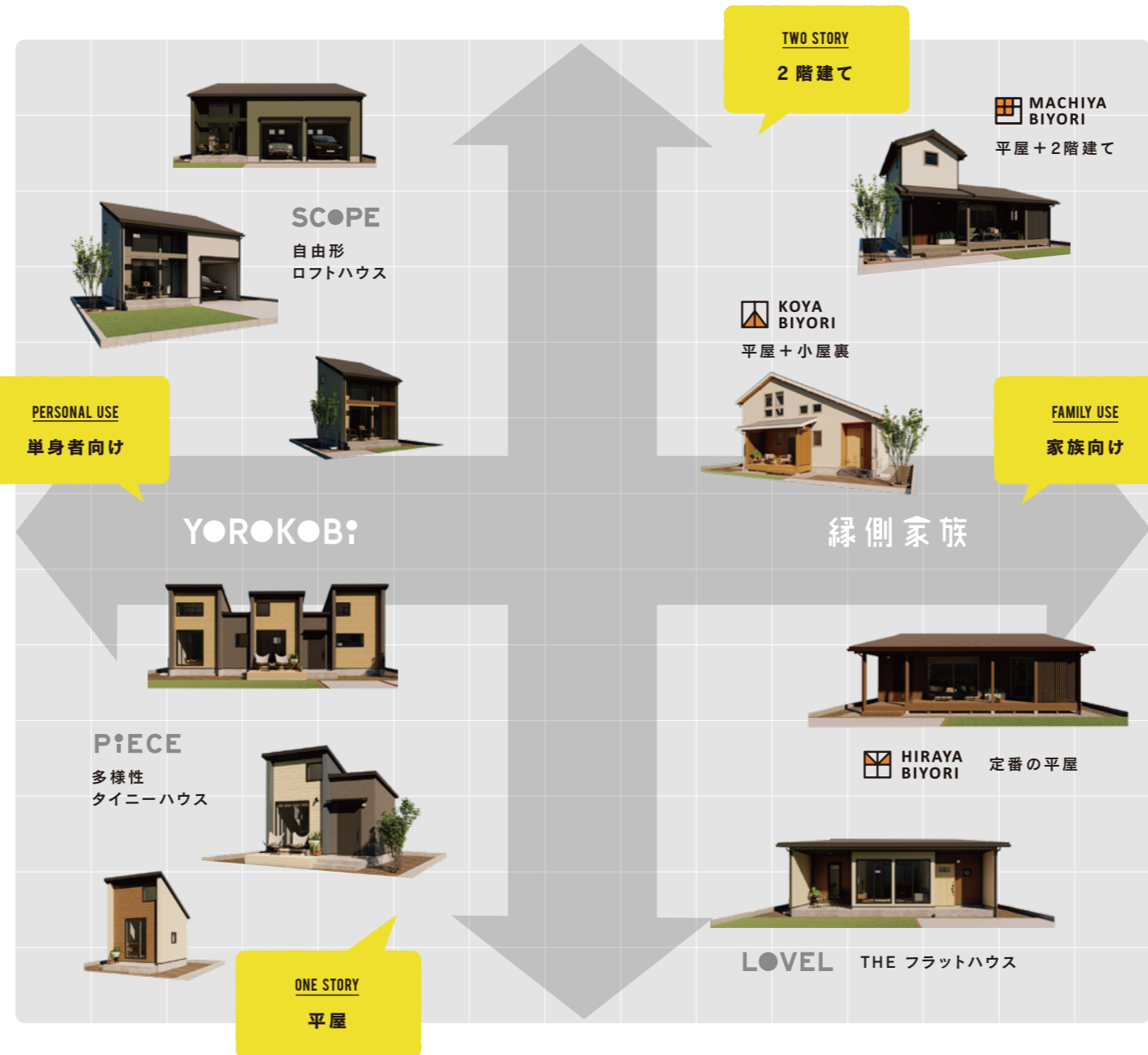
多様性 新たな価値観で選べる多様なスタイル

家族構成やライフスタイルが多様化した現代において、未だ4人家族を基本単位とした住宅のあり方は適切でしょうか。ここを起点に出発し、個々のニーズや嗜好を尊重し、それに応じた建築を追求しました。住宅としてだけでなく、組み合わせによっては店舗や宿泊施設、あるいは移住希望者の別荘などとしての展開も可能です。



規格住宅 規格住宅ならではの高い性能と信頼性

規格住宅として開発されているため高性能で、安全性、信頼性、デザイン性に優れた家が見つれます。構造や断熱性も全て計算済みで、その分コストダウンが図れます。またタイプによりモデルハウスが用意されているため、完成形のイメージがしやすく、「思っていたのと違った」というリスクもありません。



ヒュッケ思想

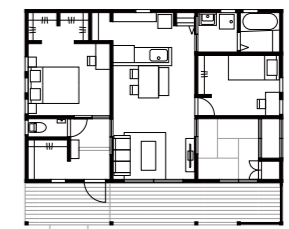
ヒュッケ思想から生まれた 「小さな家・平屋」の二つのブランド

ヒュッケ (Hygge) とは、快適で温かな雰囲気を楽しむことを重視する、デンマーク発祥のライフスタイル。家庭的な安らぎや親密な関係、自然との調和を大切に、シンプルで心地よい暮らしを追求します。このヒュッケ思想を基に生まれたのが、平屋から考える家づくりの「縁側家族」と、小さな家専門ブランドの「YOROKOBI」です。



間取り 機能性と快適性を両立させる 考え抜かれた間取り

単に小さくするのではなく、空間の広がりや視線の抜け、収納までミリ単位で計算し空間を極限まで有効利用。その分、素材や機能が高まりました。趣味嗜好やライフスタイルに合わせて選べるよう豊富なプランを展開。自分らしい暮らしの最適解が見つかるでしょう。



窪田建設株式会社
〒386-1213 長野県上田市古安曾 1116
TEL: 0268-38-3050 FAX: 0268-38-8099



窪田建設の小さな家 平屋に共感した方はぜひご覧ください！

平屋特設サイトはこちらから →



MODEL HOUSE 小さくて広い！ 3つの平屋モデルハウスを見学しよう。



上田市へ体験ツアーに出かけよう！

見学予約はこちらから



小さな家・平屋にこだわるのには理由があります